

科目名	文学史研究 [院]					単位	4.0
担当教員	秋間 康夫						
授業形態	講義	開講期間	通年	配当年次	1, 2	授業番号	3487

●授業のテーマ

和歌文学における自然観

●到達目標

八代集における四季歌の自然観を調査・研究することができるようになる。

●学習内容(授業概要)

和歌文学は『万葉集』にはじまり、平安時代には勅撰集・私撰集・私家集が相次いで編纂されているのである。一方で、歌会や歌合などが催されているのである。それが鎌倉時代以後にも受け継がれてゆくのである。本講義においては、『古今和歌集』から『新古今和歌集』までの勅撰集、いわゆる八代集を取り上げ、四季歌の中で自然をどのように詠み込んでいるか、その特質を考察することによって、和歌文学における自然観を学ぶ。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 講義概要
2. 和歌文学について (1)－勅撰集－
3. 和歌文学について (2)撰集資料－
4. 文献収集について
5. 八代集について
6. 古今和歌集における自然観 (1)－春－
7. 古今和歌集における自然観 (2)－夏－
8. 古今和歌集における自然観 (3)－秋－
9. 古今和歌集における自然観 (4)－冬－
10. 後撰和歌集における自然観 (1)－春－
11. 後撰和歌集における自然観 (2)－夏－
12. 後撰和歌集における自然観 (3)－秋－
13. 後撰和歌集における自然観 (4)－冬－
14. 拾遺和歌集における自然観 (1)－春－
15. 拾遺和歌集における自然観 (2)－夏－

《後期》

1. 拾遺和歌集における自然観 (3)－秋－
2. 拾遺和歌集における自然観 (4)－冬－
3. 後拾遺和歌集における自然観 (1)－春－
4. 後拾遺和歌集における自然観 (2)－夏・冬－
5. 後拾遺和歌集における自然観 (3)－秋－
6. 金葉和歌集・詞花和歌集における自然観 (1)－春－
7. 金葉和歌集・詞花和歌集における自然観 (2)－夏・冬－
8. 金葉和歌集・詞花和歌集における自然観 (3)－秋－
9. 千載和歌集における自然観 (1)－春－
10. 千載和歌集における自然観 (2)－夏・冬－
11. 千載和歌集における自然観 (3)－秋－
12. 新古今和歌集における自然観 (1)－春－
13. 新古今和歌集における自然観 (2)－夏・冬－

14. 新古今和歌集における自然観 (3)－秋－

15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

予め、授業ごとにテーマを知り、そのテーマにそって調査し、考察を加えておく。授業後は授業内容をまとめ、問題点があれば指摘し、提出する。

●成績評価方法・基準

発表 4 割・レポート 4 割・平常点 2 割

●テキスト（必携）

講義時に指示する。

●参考文献／その他

講義時に指示する。

●履修上の注意

特になし。